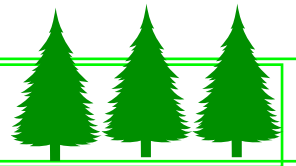




みつぎ便り



第225号 6月号 令和7年6月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



ヤリタナゴ

今年も五月から、すでに真夏日を記録して暑い夏が来そうな予感があります。池のある公園などの水辺が恋しくなりませんか？公園の池には、この「みつぎ便り」で多くの種類の魚を紹介してきました。

みなさんがよく見かける、コイやヘラブナをはじめ、クチボソ（モツゴ）、ブルーギル等々が、池の中に棲んでいることを知られた方もいることでしょう。

いく種類のタナゴを紹介しましたが、今回は「ヤリタナゴ」です。日本にいるタナゴは二十種類ほどでその中でもヤリタナゴは比較的大きな方で、体長が十〜十三センチもあり、体高はやや偏平しています。



オスは繁殖期になると、背鰭と尾鰭が朱色に染まり鮮やかな婚姻色になり下腹部と腹鰭と尻鰭は黒くなります。メスには淡い朱色の短い産卵管が現れます。

産卵は三〜八月頃に、二枚貝のドブガイなどイシガイ科の貝に産みつけ、稚魚は貝の中で孵化し一ヶ月ほどで貝から出てきます。

タナゴ釣りは、愛好家の話によると奥が深く、竿を含めた道具の凝り方など色々嗜好が分かれるところですね。釣りをしたことがない方も、この釣りと道具造りも比較的簡単にできるので、やってみたらいかがでしょうか？

(圭)

ウチワゼニグサ

ウコギ科チドメクサ属に分類される水生または水中生の多年草です。名前は葉の形が団扇（うちわ）のようで硬貨にも似ていることに由来していると言われ、ウオーターマッシュルームの名で水草として流通しています。

北米原産ですが観賞用として各国に輸入され、日本や南アメリカ、アフリカ、オーストラリアなどで分布、野生化しています。一九六〇年代に熱帯魚用の水草として輸入されたものと言われています。

公園では池の排水溝の近くに群生しています。名前の通り団扇を思わせる円形の形は目立ちすぐにそれと



分かります。全体に柔らかく無毛。茎は這い、糸状、節から五〜四十センチの長い葉柄の葉と根を出します。葉は円形で、光沢があり葉脈は九〜十三本が放射状に出ます。六〜十月に一〜十五個の白色の花が二〜三段に輪生します。

ところで今年は鴨の数が少なく淋しい思いをしています。鴨も少子化とは冗談ですが、今日（五月二十一日）も一ファミリーを見ただけでした。四羽の小鴨が親ガモに連れられて泳ぐ様子は微笑ましいです。来年はもつと沢山のグループに会いたいのです。

(重)